

## 百済と百済歴史遺跡地区

百済は紀元前18年から紀元後660年まで約700年間存続した韓国の古代王国の一つである。ユネスコ世界遺産である百済歴史遺跡地区は、百済の王都と密接な関係のある考古学的の遺跡群から成り、以下の公州・扶餘・益山の遺跡が含まれる。

- ・公州：公州城、宋山里古墳群
- ・扶餘：官北済遺跡、扶蘇山城、定林寺址、陵山里古墳群、羅城
- ・益山：益山王室遺跡、弥勒寺址

## 百済歴史遺跡地区の顕著な普遍的価値(OUV)

百済歴史遺跡地区は、周辺国と盛んに交流し、文化の発展が最も盛期を迎えた百済後期を代表する遺産である。百済が中国の都市計画の原則で建築技術、芸術、宗教を受け入れて発展させ、日本や東アジアに伝えたことを裏づけている。

住所：大田広域市西区芸文路137 KT&Gビル5階

電話番号：042-488-9726

ホームページ：<http://www.baekje-heritage.or.kr/>

ブログ：<https://blog.naver.com/unescobaejkje>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/unescobaejkje>

インスタグラム：[https://www.instagram.com/baekje\\_historic\\_areas/](https://www.instagram.com/baekje_historic_areas/)

© 2019



日本語



## 百済歴史遺跡地区

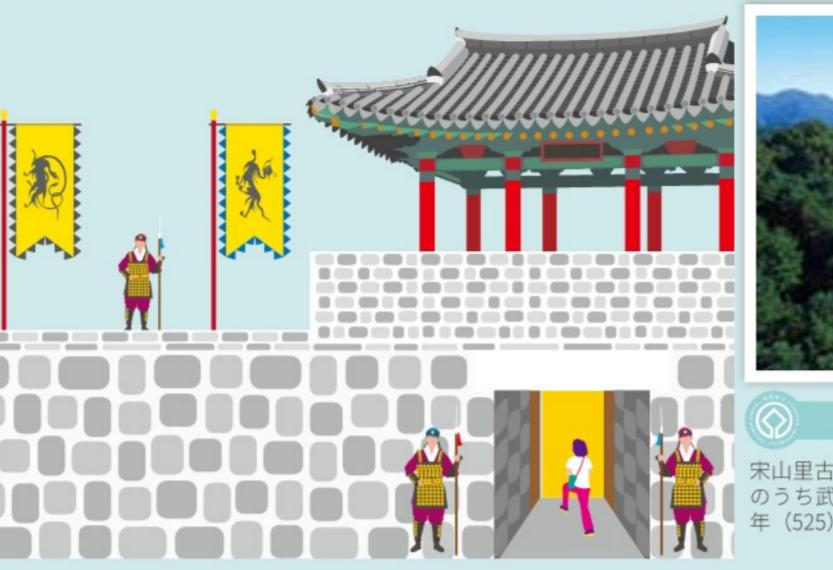
### ユネスコ世界遺産登認証書



世界遺産登記：2015年7月



# 公州 Gongju 百済, 再び強国となる

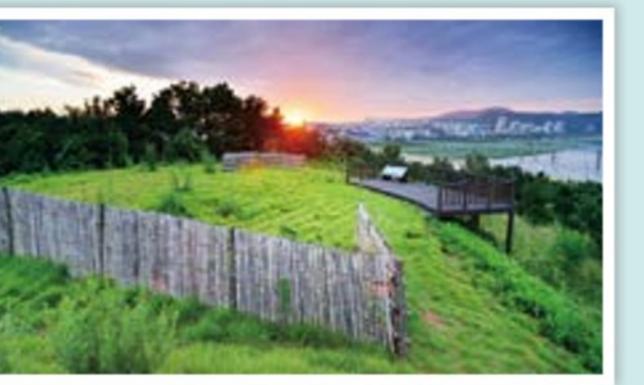


## 公州の主な百済遺跡



### 公山城

公山城は熊津時代（475～538）に百済の王宮があった山城で、錦江と公山の自然地形を利用して築造された。発掘調査の結果、王宮址や王宮付属施設、百済時代の土城などが確認された。



### 艇止山遺跡

宋山里古墳群の北の艇止山にある王室の祭祀施設である。ここで武寧王と王妃の葬儀が行われ、その後宋山里古墳群に安置されたとみられる。



### 水村里古墳群

百済が熊津に遷都する前に公州地域に造られた古墳群で、漢城時代の中央と地方の関係を示す重要な資料である。



### 玉峰城

宋山里古墳群は熊津時代の百済王陵群で、7基が整備されている。そのうち武寧王陵は盗掘されていない状態で発掘され、被葬者と築造年（525）が特定できる貴重な事例となっている。



### コマナル

公山城の東にある標高60mの玉峰の頂上を取り囲む山城で、残つてゐる城壁は870m程度である。西側の城壁は公山城とつながっており、立派や規模、出土品などから、公山城に属する山城だったと判断される。

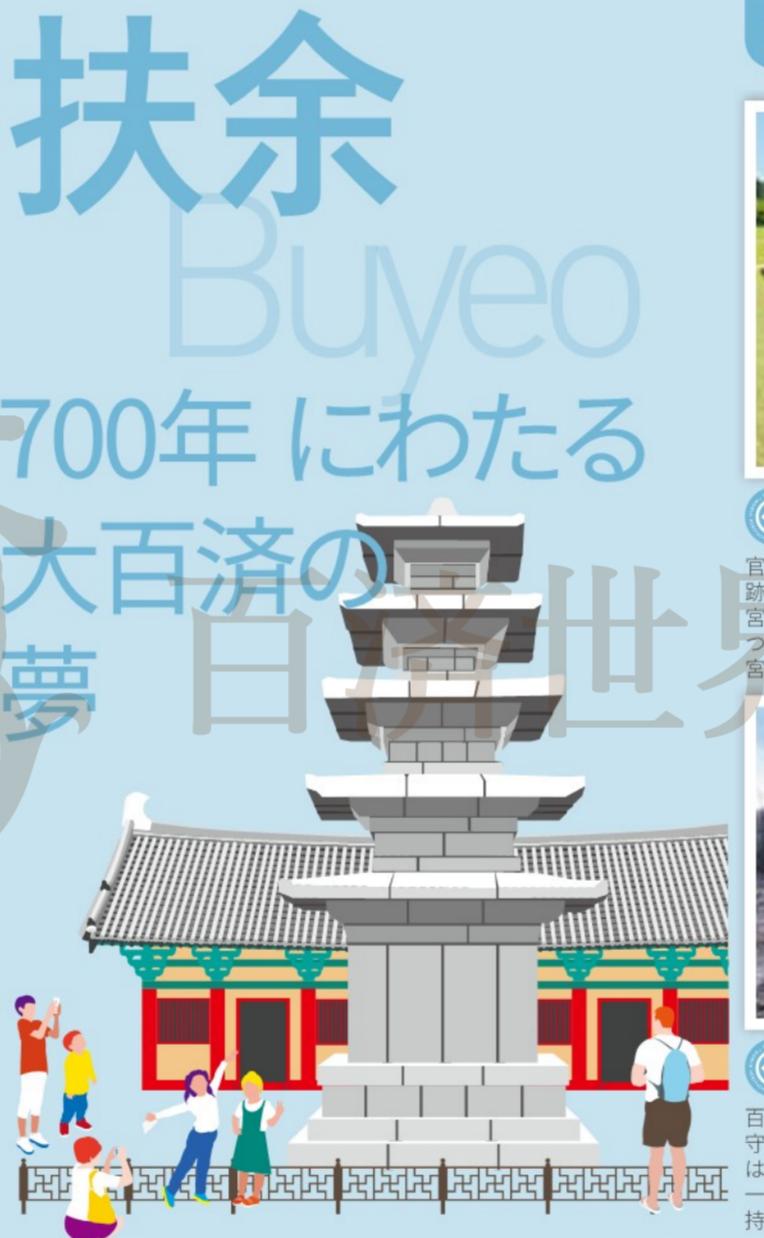
## 百済文化祭



百済文化祭は、700年にわたる輝かしい百済の歴史と文化を感じることができる祭りである。見て触れて体験すること、150年前の百済ヘタノイムスリップしたかのような気分が味わえる。

期間：毎年9月～10月  
会場：公州・扶餘・益山

## 扶余の主な百済遺跡



# 扶余 Buyeo 700年にわたる 大百済の夢 百済の世界遺産



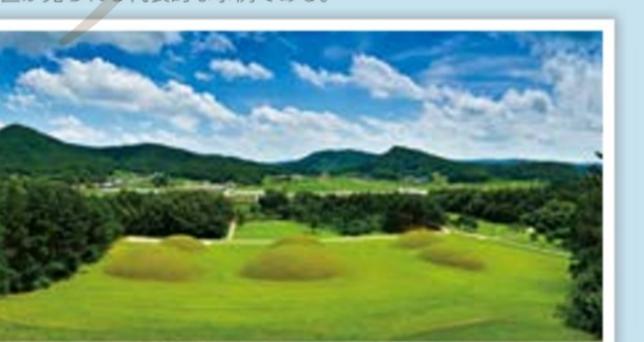
### 官北里遺跡と扶蘇山城

官北里遺跡と扶蘇山城は泗沘時代（538～660）の王宮に開闢された遺跡で、発掘調査により官北里では大型建物跡や貯蔵施設など王宮の主要施設が、扶蘇山城では版築により石垣に築かれた土城が見つかっている。扶蘇山城は王宮の後に築かれた山城で、普段は王宮の後院として使われ、有事の際には防衛施設として利用された。



### 宮南池

韓国初の人工池とされる宮南池は、武王のときにつくられたものとみられる。「宮殿の南に池を掘った」という『三国史記』の記録から「宮南池」と呼ばれるようになった。7月には色鮮やかな蓮の花が満開に咲き誇り、はす祭りが開催される。



### 羅城

百済後期の首都・泗沘は、北・西・南は錦江が自然の堀として都を守り、東側にだけ人工的な防護施設（羅城）が置かれていた。羅城は、朝鮮半島で新たに出現した都市の外郭城としては最も早い例の一つで、防衛のほかに、都の中と外を分ける境界という性格を併せ持っていた。



### 陵山里古墳群

陵山里古墳群は百済泗沘時代の王陵で、羅城の外側に位置しており、いずれも横穴式石室墓である。1号墳（東下塚）の内部には壁画が描かれていて、百済絵画の研究において重要な資料となっている。

## 益山の主な百済遺跡



# 益山 Iksan 百済の人々が 夢見た未来



### 王宮里遺跡

王宮里遺跡は、百済・武王（在位 600～641）の時代につくられた王宮である。発掘調査の結果、長方形に築かれた宮闈（城壁）の内部で王宮のさまざまな施設が確認された。南側には儀礼や政治を行う建物が、北側には厩舎と後苑が配置されていたことがわかっている。



### 帝釈寺址

帝釈寺址は一塔一堂式の典型的な百済の伽藍配置で、中国・六朝時代の『觀世音經記』には、武王40年（639）に落雷によって塔が焼失したが、その下の心礎石に安置されていた仏舍利が金剛般若経は観世音菩薩の靈跡による無事だったため、寺院を再建したと記されている。



### 弥勒寺址

五金山にあることから「五金山城」とも呼ばれる。百済末期から統一新羅時代にかけて使われた山城であることが発掘調査でわかった。金馬者（金馬の旧名）と呼ばれた金馬市街地や王宮坪が見下ろせる要害である。



### 双陵

2基の墓の200mほど離れて並んで並んでいることから「双陵」と呼ばれる。発掘調査の結果、扶餘陵山里古墳群（東下塚）より規模が大きく、王陵の墓であることがわかった。出土した遺骨の分析結果から、被葬者は百済第30代王・武王とその妃である可能性が高いとみられている。

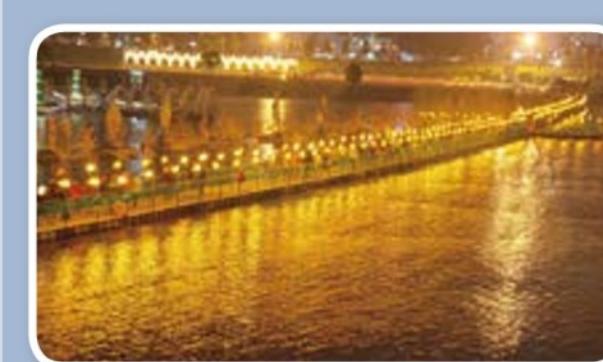


### 益山土城

笠店里古墳群は、錦江を挟んで扶餘に近い位置にある。百済時代中期のさまざまな様式の古墳があり、益山が漢城時代から政治的・文化的に重視されていたことを物語る資料である。

# 公州・扶余・益山の祭り

## 百済文化祭



百済文化祭は、700年にわたる輝かしい百済の歴史と文化を感じることができる祭りである。見て触れて体験すること、150年前の百済ヘタノイムスリップしたかのような気分が味わえる。

期間：毎年9月～10月  
会場：公州・扶餘・益山

## 石壮里旧石器祭り



石壮里旧石器祭りは旧石器時代をテーマに体験や学習ができる祭りで、毎年5月に開催されている。公演や展示などさまざまな催しが行われるほか、フードコーナーも設置される。

期間：毎年5月  
会場：公州石壮里博物館一帯

## 扶余の祭り



宮南池一帯の約10万坪に咲く蓮の花を愛でる祭りで、多彩な催しが行われる。2012年に文化体育観光部の「有望な祭り」に指定され、全国的に知られている。

期間：毎年7月  
会場：扶餘宮南池（蕃童公園）一帯

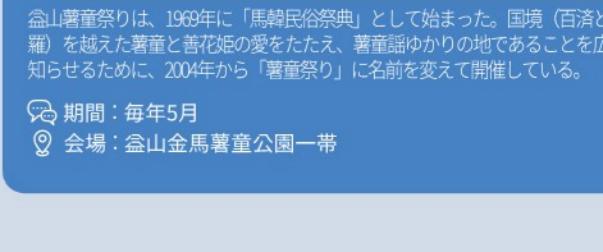
## 扶余蕃童はす祭り



宮南池一带の約10万坪に咲く蓮の花を愛でる祭りで、多彩な催しが行われる。2012年に文化体育観光部の「有望な祭り」に指定され、全国的に知られている。

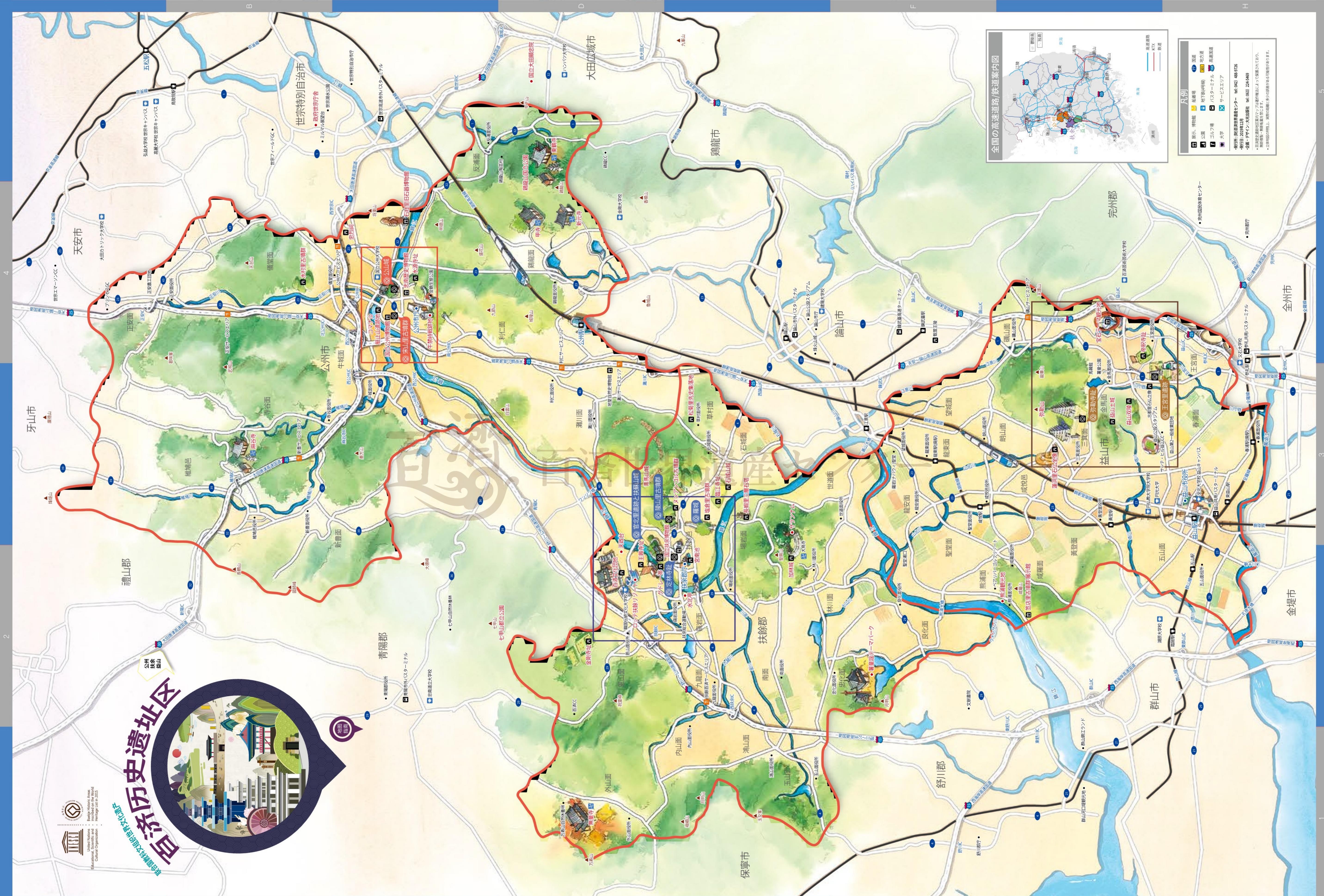
期間：毎年7月  
会場：扶餘宮南池（蕃童公園）一帯

## 益山の祭り



益山蕃童祭りは1989年に「黒騎民俗祭典」として始まった。国境（百済と新羅）を越えた蕃童と蕃童の愛をたたえ、蕃童道ゆかりの地であることを広く知るために、2004年から「蕃童祭り」に名前を変えて開催している。

期間：毎年5月  
会場：益山金馬蕃童公園一帯



United Nations  
Educational, Scientific and Cultural Organization

Cultural Properties of the Baekje Kingdom

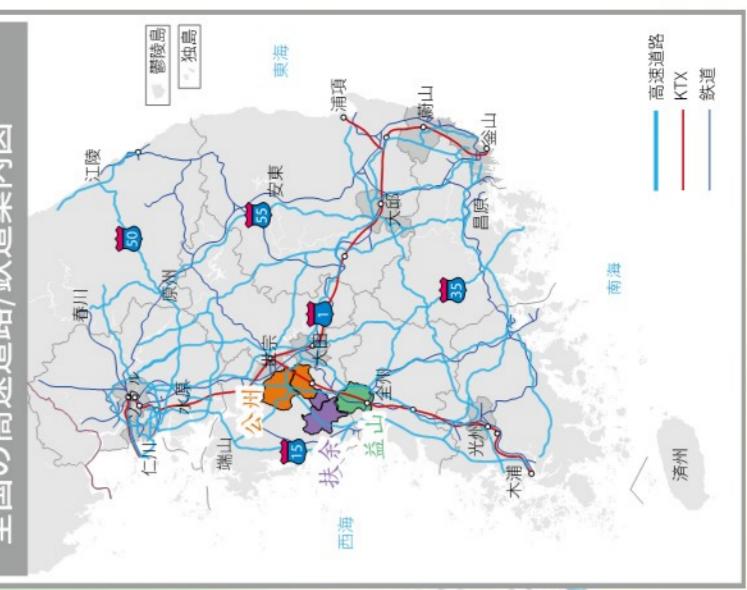
Heritage List in 2015

# 歴史遺址区 百济



地図

ナビ



\*上記地図は、実際の位置と多少異なる場合があります。

5

3

1

4

2